

愛知県の平成22年度施策 並びに予算に関する要望

平成21年10月
名古屋商工会議所

愛知県の平成22年度施策並びに予算に関する要望

愛知県ご当局には、日頃から県勢の発展と、県内産業の振興、県民生活の向上にご尽力頂き、厚くお礼申し上げます。

さて、未曾有の世界同時不況の直撃を受けた当地域経済にも、在庫調整の一巡や国の経済対策効果などにより、このところ持ち直しの動きがみられるようになってまいりました。

しかしながら、生産活動の水準は依然として低い水準にあり、個人消費も低迷を続けていることなど、景気の先行きについては予断が許されない状況にあります。とりわけ、中小・小規模企業を取り巻く経済環境には非常に厳しいものがあります。

愛知県ご当局におかれましては、引き続き中小・小規模企業動向への注視と万全の支援を頂きますとともに、全地球的問題であります環境への企業の取り組み支援、並びに次世代の地域経済を支える航空宇宙産業などの振興や先端技術の育成・支援などにも注力頂きますようお願い致します。

また、万博開催後5年目という節目の年に開催される「生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)」並びに「あいちトリエンナーレ2010」を最大限に活用し、当地域の豊かな地域資源や文化の国内外への発信強化と交流促進に注力頂くとともに、交流を支える交通基盤整備などにも引き続き強力なリーダーシップを発揮されますようお願い致します。

厳しい財政環境下ではありますが、愛知県ご当局に対し、平成22年度施策の策定並びに予算の編成に当たり、下記要望事項につきまして、その実現を強く望むものであります。

平成21年10月

名古屋商工会議所

< 目 次 >

I. 地域活性化の要となる中小企業、産業の振興	…	1
A. 地域経済を支え、活力の源泉である中小企業の育成・支援	…	1
1. 中小・小規模企業に対する金融支援の充実・強化	…	1
2. 小規模事業経営支援事業費補助金の拡充	…	2
3. 中小小売商業振興策の拡充・強化	…	3
4. 企業における環境への取り組みに対する支援	…	3
5. 中小企業の経営力向上に向けてニーズの高い支援策の拡充・強化	…	3
6. 中小企業の技術開発への支援	…	4
7. 大規模災害・新型インフルエンザ対策への支援	…	4
8. 海外進出中小企業への支援体制の強化	…	4
9. 公共調達の地元企業への優先発注の拡大	…	4
B. 時代を先取りする産業、技術、人材の育成・支援	…	5
B-1. 次世代産業・技術の振興	…	5
1. 航空宇宙産業の振興と関連研究施設の誘致促進	…	5
2. 医・工連携によるメディカル・デバイス産業の振興	…	5
3. 科学技術振興団体間の連携促進と産学行政連携の推進	…	5
4. 都市型産業の振興	…	6
5. 地域情報化の推進とグリーン ICT の推進	…	6
B-2. 知的財産の活用と人材の育成	…	6
1. (独)工業所有権情報・研修館名古屋閲覧室廃止に伴う出願支援体制の整備	…	6
2. 少年少女発明クラブの創設と既存クラブへの支援	…	6
3. 知的財産権取得のための助成制度の拡充・強化	…	7
4. 知的財産権への侵害に対する支援施策の確立	…	7
II. 世界的な交流圏域の実現	…	8
C. 交流促進を目指した地域の魅力創出と情報発信強化	…	8
C-1. 魅力ある地域づくり	…	8
1. 適正な商業環境の整備促進	…	8
2. 魅力ある街づくりの推進	…	8
3. 在名外国公館への支援及び外国公館の誘致	…	8
4. 国内外企業の誘致推進	…	9
C-2. 地域文化・情報発信の強化	…	9
1. 産業観光をはじめとする観光の振興	…	9
2. 「メッセナゴヤ」への強力な支援	…	10
3. 生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)の成功と成果の継承	…	10
4. 親しみやすい「あいちトリエンナーレ2010」の開催	…	10
5. 海外に向けた地域PR体制の整備・拡充	…	10
D. 日本のロータリーを目指す総合交通ネットワークの形成	…	11
1. 中部国際空港の二本目滑走路の整備促進及び利用促進	…	11
2. スーパー中樞港湾・名古屋港の整備促進並びに利用促進	…	11
3. 都市圏交通網と総合交通ネットワークの整備促進並びに利便性の向上	…	11
4. 県営名古屋空港の利用促進	…	12

愛知県の平成22年度施策並びに予算に関する重点要望項目

I. 地域活性化の要となる中小企業、産業の振興

- 中小・小規模企業に対する金融支援の充実・強化(P.1)
- 航空宇宙産業の振興と関連研究施設の誘致促進(P.5)
- 科学技術振興団体間の連携促進と産学行政連携の推進(P.5)
- 企業における環境への取り組みに対する支援(P.3)
- 小規模事業経営支援事業費補助金の拡充(P.2)
- 中小小売商業施策の拡充・強化(P.3)

II. 世界的な交流圏域の実現

- 生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)の成功と成果の継承(P.10)
- 親しみやすい「あいちトリエンナーレ2010」の開催(P.10)
- 産業観光をはじめとする観光の振興(P.9)
- 中部国際空港の二本目滑走路の整備促進及び利用促進(P.11)
- スーパー中枢港湾・名古屋港の整備促進並びに利用促進(P.11)
- 都市圏交通網と総合交通ネットワークの整備促進並びに利便性の向上(P.11)

I. 地域活性化の要となる中小企業、産業の振興

A. 地域経済を支え、活力の源泉である中小企業の育成・支援

1. 中小・小規模企業に対する金融支援の充実・強化

① 既往借入金返済負担の軽減など

昨秋以降の景気後退の中で、講じられた緊急保証制度や各種融資制度の拡大などの金融支援策は、中小企業の資金繰りに一定の効果を挙げることができた。

しかしながら、依然として景況感の先行きは不透明であり、多くの中小企業においては、急激な受注・売上の減少が続き、資金繰りが更に悪化することが予想され、一部においては借入金の返済が遅延することも懸念される。

既に確りと取り組んでいただいていることではあるが、愛知県信用保証協会には、審査時に企業の将来性等を勘案することや、既往借入の返済条件変更を状況に応じて弾力的に運用すること、迅速な審査の実施など、中小・小規模企業者の資金繰り支援をお願いしたい。

あわせて、平成 22 年 3 月までとなっている緊急保証制度の取扱期間が当面延長されるよう国に対して働きかけられたい。

本所の取り組み

平成 21 年 1~6 月「名商緊急行動プログラム」の一つとして、「融資・経営緊急相談会」を計 3 回開催し、214 社の参加があった。特に 5 月 14 日の相談会においては、通常の融資相談に加え、元本返済猶予をはじめ、返済条件の変更相談を受付したところ、参加者の半数がこの関連での相談であり、資金繰りに苦慮されている実態があきらかとなった。

② 活力あふれる企業への更なる金融支援と中小企業融資制度の機能的拡充

チャレンジ精神旺盛な中小企業に対しては、その経営力の強化を一層支援するため、企業の将来性・成長性を評価に加えた積極的な金融支援を図られたい。

また、責任共有制度の対象外である「小口零細企業保証制度」の保証限度額（現状は 1,250 万円）を拡充するとともに、セーフティーネット貸付についても金利引下げ、原則第三者保証人不要などの拡充を講じられるよう国に対して働きかけられたい。

③ 設備資金貸付制度貸付枠の拡充

中堅・中小企業においては、同制度利用に対する相談は多く、借入を希望する企業の潜在的需要はまだあると考える。

事業者の利用に応えるため、また地域産業活性化のためにも、対象企業を小規模企業者に限定することなく、第一次募集時から特認企業を含めた募集を進められたい。あわせて、貸付予算枠の拡充を図られたい。

【設備資金貸付制度】

(単位:千円)

	予算枠	申込金額	決定件数	決定金額
平成 13 年度	42 億円	1,847,693	112	1,548,486
平成 14 年度	32 億円	1,038,720	74	798,749
平成 15 年度	21 億円	1,594,664	99	1,423,444
平成 16 年度	22 億円	2,184,230	130	1,982,557
平成 17 年度	26 億円	2,611,716	162	2,430,747
平成 18 年度	30 億円	3,175,700	158	2,803,680
平成 19 年度	26 億円	2,848,946	144	2,330,385
平成 20 年度	20 億円	2,166,854	111	1,740,434

2. 小規模事業経営支援事業費補助金の拡充

国の三位一体改革の一環として、平成 18 年度より同補助金の県への税源移譲が行われて以降、同補助金の全体予算が年々削減されている。

三位一体改革後も、国は様々な中小・小規模企業支援対策を打ち出しており、それらの多くは商工会議所等が実施主体として、中小・小規模企業の経営に精通した経営指導員が担っている。特に、戦後最悪と言われている今回の経済悪化の中で、きめ細かな金融相談など経営指導員が果たした役割は非常に大きなものがある。

こうした中、同補助事業のひとつである「エキスパートバンク事業」は、「労働」、「技術」、「IT」、「営業」、「生産」など対象分野が多岐にわたり、雇用調整助成金の申請指導をはじめ、企業からのニーズも特に高まってきており、その拡充が求められるところである。

加えて、21 年度で終了となる「課題対応型地域活性化事業」も、地域の小規模事業者にとっては有効な事業となっており、是非とも 22 年度以降も継続をされたい。

小規模事業経営支援事業費補助金については、経営指導員等の人件費並びに各種事業費の十分かつ安定的な確保・拡充を是非とも図られたい。

【小規模事業経営支援事業費補助金の推移】

(単位：円)

	平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度
愛知県補助金	595,775,271	595,430,037	582,893,565	577,876,584	559,260,957
内、人件費	492,606,592	499,072,659	493,116,862	494,557,555	487,359,879
内、事業費	103,168,679	96,357,378	89,776,703	83,319,029	71,901,078

本所の取り組み

1. 名商緊急行動プログラム(平成 21 年 1 月 14 日～6 月 30 日)

窓口相談件数は、平成 21 年度は 3,888 件(20 年度 3412 件)で、うち夜間相談は 34 件であった。金融対策として、「融資・経営緊急相談会」を計 3 回開催し、214 社が相談を受けられた。雇用対策として「緊急雇用対策セミナー」を 2 月 17 日に開催し、定員を超える 140 社の参加があった。また、ニーズ調査に基づき特別巡回を行うなど、きめこまやかな対策を実施した。

2. 21 年度の課題対応型地域活性化事業

(1) 西区エリアの活性化を目指した地域内連携事業

名古屋市西区、特に名古屋駅～名鉄栄生駅～名古屋城を結ぶエリアへの集客と地域内の産業や個店魅力を発信することを目的にスタンプラリー形式のイベントを実施し、それをきっかけとした地域内の企業・商店・業界団体等の連携を深め、活性化を展開中。

(2) 名古屋南西部ものづくり活性化事業-持続的な製造業の発展を目指したネットワークづくり

名古屋南西部の製造業者を中心に地域密着型の連携組織「名古屋南西部ものづくりネットワーク会議」を立ち上げ、個々の企業が有する資源の開示を行い、地域企業間における活用に向け展開中。

3. 中小小売商業振興策の拡充・強化

- ① 中小小売商業への強力な支援
 - ・ あいち産業振興機構を中心に IT 化支援をされているが、個店ホームページの制作支援や IT 技術者の派遣等、中小小売商業の情報化促進に一層の支援をされたい。
 - ・ 商業人材の育成に関する支援策を拡充・強化されたい。
- ② 商業団体等に対する各種補助制度の大幅な拡充・強化
 - ・ 各種補助制度の普及・啓発に努めるとともに、補助額を大幅に拡充されたい。

【愛知県商業団体等事業費補助金制度件数(20年度)】

共同事業：143 件、共同施設事業：5 件、空き店舗活用事業：10 件

- ③ な・ご・や商業フェスタ事業への強力な支援
 - ・ 補助率を 20%から 30%へ引き上げられるとともに、補助限度額(200 万円)を撤廃されたい。
 - ・ 当該事業への新たな補助制度を創設されたい。

本所の取り組み

「な・ご・や商業フェスタ」事業は、地域商業の発展と魅力ある街づくりに寄与することを目的に、中小小売業と大型店が一体になって取り組んでいる全国的にも例を見ない事業である。2010 年は、55 回目を迎えることから、記念事業の展開を検討していく。

4. 企業における環境への取り組みに対する支援

地球温暖化問題をはじめ環境への取り組みは、企業にとっても重要な経営課題としてまさに実践すべき段階に至っている。ついては、企業における環境への理解と具体的行動を促進するため、以下の点にご配慮頂きたい。

- ① 本所では環境委員会を設置し、企業における環境への取り組みを支援するため、環境行動計画の策定を進めている。ついては、その推進に際し、貴県の施策との緊密な連携をお願いしたい。
- ② 企業が省エネルギー化や温室効果ガスの排出削減に取り組むため、以下の措置を講じられたい。
 - ・ 事業所、工場への省エネ設備の導入に対する補助制度など支援の拡充
 - ・ 中小企業からの相談に応じられる相談機能の拡充

5. 中小企業の経営力向上に向けてニーズの高い支援策の拡充・強化

中小企業のイノベーションの創造や新事業の創出に成果が出ている「中小企業新事業活動促進法」に基づく経営革新計画の知事承認企業の増加を図るために、経営革新補助金の復活など支援策の強化をお願いしたい。

加えて、創業に向けた意識喚起など潜在的創業希望者の掘り起こしへの各支援機関の連携体制の強化にご協力頂きたい。

6. 中小企業の技術開発への支援

当地域の中小企業が長年にわたって培ってきた技術開発や品質の向上、生産の効率化を進めるため、設備資金貸付制度の手続きを簡素化するなど中小企業のイノベーションを促進する施策を展開されたい。

7. 大規模災害・新型インフルエンザ対策への支援

愛知県が作成された中小企業向け事業継続計画(BCP)策定マニュアル「あいち BCPモデル」について、今後、世界的規模での大流行が懸念される新型インフルエンザにも対応できるよう改良されたい。

また、同モデルの普及促進のため、説明会・講習会等の開催を増やすとともに、同モデルに基づき、BCPを策定した企業に対する認定制度を設け、耐震改修や設備投資への費用について、新たな助成制度や融資制度を創設されたい。

8. 海外進出中小企業への支援体制の強化

「愛知県サポートデスク」がベトナム及び中国に設置されているが、とりわけ中小企業がこれら該当国において円滑に事業活動を展開していくためには、進出後の支援が極めて重要である。

については進出企業の関心が高い労務・税務に関する情報や現地企業情報の提供等、よりキメ細やかな支援体制を整備されたい。

【愛知県サポートデスク】

ベトナム(ハノイ)	: ベトナム計画投資庁とのMOU締結(平成20年3月) サポートデスク設置(平成21年3月)
中国(江蘇省)	: 江蘇省との経済分野の交流強化にかかる合意文書締結 (平成20年10月) サポートデスク設置(平成20年12月)

9. 公共調達在地元企業への優先発注の拡大

地元企業の育成・支援のため、愛知県が発注される役務提供を含む種々の公共調達について、地元企業への優先発注に努められるとともに、特に地元中小企業の育成・強化に努められたい。

B. 時代を先取りする産業、技術、人材の育成・支援

B-1. 次世代産業・技術の振興

1. 航空宇宙産業の振興と関連研究施設の誘致促進

- ① 航空宇宙技術者育成研修の募集定員の倍加、カリキュラムの充実等
- ② 国際航空宇宙展(JA2012)の成功に向け、関係者間の連携強化と、シンポジウム、商談会等、プレイベントの開催
- ③ 広範な産業分野の高度化を促す航空宇宙関連技術の中小企業への技術移転・技術波及の推進
- ④ 超音速旅客機(SST)構想の実現に向けた(独)宇宙航空研究開発機構(JAXA)の研究開発部門の誘致と具体的支援策の推進

2. 医・工連携によるメディカル・デバイス産業の振興

心臓人工弁、ペースメーカーを始めとする大半の高度医療機器を外国に依存しているわが国にとって、高度医療機器の国内での開発は国民の生命を守るためにも極めて重要なことである。

特に、最先端医療機器の開発には幅広い要素技術が必要であり、当地域のモノづくり特性を最大限に活かすことのできる分野であることから、医・工連携体制の構築等、メディカル・デバイス産業の総合的な振興策を早急に確立されたい。

本所の取り組み

メディカル・デバイス産業研究会(仮称)の設立を目指し、これまで準備会合を重ねるとともに、キックオフイベントとして、わが国における医療機器開発の現状と課題を抽出するためのセミナーを開催し、当地域における医・工連携活動を展開していく。

3. 科学技術振興団体間の連携促進と産学行政連携の推進

- ① 科学技術振興団体間の連携促進
当地域の科学技術振興団体間の連携協力や、相互の機能補完などを通じ、人的・知的資源が有機的に活用できるよう環境整備を図られたい。
- ② 愛知県立大学への工学系学部・学科の新設(航空宇宙学科、機械制御系、自然再生工学等)
- ③ 愛知県産業技術研究所の産学行政連携機能の拡充・強化
中小企業に対する技術支援や製品化支援等、相談・指導体制を拡充・強化するとともに、中小企業の技術開発力向上につながる実用性の高い応用研究や、研究成果の移転を一層促進されたい。
- ④ 先導的中核施設の整備推進
シンクロトン光利用施設の整備が始まっているが、先導的中核施設の整備を早期に推進されるとともに、中小企業が同施設を積極的に活用できるよう施設利用料の低減やオペレート支援、解析支援など一層の支援策を確立されたい。
- ⑤ 知的クラスター創成事業(第Ⅱ期)の着実な推進
第Ⅱ期事業は、岐阜県・三重県との連携により事業が進捗しているが、当地域が世界的なモノづくり技術拠点として持続的に発展するよう、研究成果の移転や技術波及のための施策を展開されたい。

4. 都市型産業の振興

「平成 20 年度版年次レポート『新しい政策の指針』フォローアップ会議報告書」において、「内外の環境変化に打ち勝つ産業力の強化」および「魅力と風格あふれる愛知づくり」の2つの政策課題について、デザイン、ファッションなどの創造産業の重要性ならびに中小企業のデザイン力啓発・向上の必要性が提案されている。

については、昨年「ユネスコ・クリエイティブ・シティズ・ネットワーク」へ加盟した名古屋市をはじめとした行政機関、経済団体、業界団体等との連携促進により、当地域の創造産業(都市型産業)の一層の振興にご尽力されたい。

【ユネスコ・クリエイティブ・シティズ・ネットワーク】

創造的・文化的な産業の育成、強化によって、都市の活性化を目指す世界の各都市をネットワーク化することにより、ユネスコが国際的な連携・相互交流を支援する制度である(平成 16 年に創設)。デザインをはじめ、クラフト&フォークアート、映画、食文化、文学、音楽、メディアアートの7分野があり、名古屋市は 18 年 10 月に神戸市とともにアジアで始めて加盟(分野はデザイン)。

5. 地域情報化の推進とグリーン ICT の推進

- ① 「あいち IT プラン 2010」を着実に推進されるとともに、その後の将来ビジョンを早期に策定され、さらなる地域情報化の推進に努められたい。
- ② グリーン ICT の推進による、さらなる環境負荷低減策の普及・啓発

B-2. 知的財産の活用と人材の育成

1. (独)工業所有権情報・研修館名古屋閲覧室廃止に伴う出願支援体制の整備

(独)工業所有権情報・研修館名古屋閲覧室が平成 22 年度末に廃止されることになっているが、これまで名古屋閲覧室が担ってきた工業所有権情報検索機能や出願相談機能も同時に喪失することになる。については、県内中小企業への出願支援体制に重大な支障が出るのが憂慮されるので、これが代替機能の整備を図られたい。

また、利便性に欠ける愛知県知的所有権センターの名古屋地域への移転についても鋭意検討されたい。

【各施設の利用状況】

- (1) 平成 20 年度(独)工業所有権情報・研修館名古屋閲覧室
工業所有権情報検索端末機利用者数：2,100 名
- (2) 愛知県知的所有権センター窓口相談実績(電話、FAX 等含む)
平成 19 年度：650 件、平成 20 年度：595 件

2. 少年少女発明クラブの創設と既存クラブへの支援

少年少女発明クラブ創設を未設置の市町村に働きかけるとともに、既存クラブへの運営支援のための助成制度を創設されたい。

【愛知県内の少年少女発明クラブ(平成 21 年 7 月現在:18ヶ所)】

刈谷・豊田・大府・西尾・東海・安城・高浜・半田・岡崎・知立・碧南・一宮・阿久比・豊川・名古屋・蒲郡・豊橋・大口

3. 知的財産権取得のための助成制度の拡充・強化

「海外特許等取得・知的財産活用促進事業費補助金」を拡充するとともに、補助申請時における事務手続きの簡素化を図られたい。また、国内出願に対する新たな助成制度の創設についても検討されたい。

【愛知県の「海外特許取得・知的財産活用促進事業費補助金」】

県内中小企業者を対象に外国特許(商標・意匠も含む)出願に要する経費を助成、補助限度額は総額の2分の1以内で特許:150万円、商標・意匠:60万円が限度。
※平成20年度利用実績:応募24社、採択12社。21年度予算:954万円。

4. 知的財産権への侵害に対する支援施策の確立

模倣品被害等、知的財産権の侵害を受けた中小企業に対する相談体制を整備するとともに、権利侵害に係る訴訟費用等への助成制度を創設されたい。

【愛知県「模倣品被害に関するアンケート調査」結果(平成20年7月実施、回答企業数:228社)】

過去5年間で57社(25%)の企業が被害を受けており、模倣品対策のための費用100万円未満の企業が29社、100万円から500万円未満の企業が24社であった。

II. 世界的な交流圏域の実現

C. 交流促進を目指した地域の魅力創出と情報発信強化

C-1. 魅力ある地域づくり

1. 適正な商業環境の整備促進

「愛知県商業・まちづくりガイドライン」を適正に運用されたい。

【愛知県における対応】

「まちづくり3法」の改正に伴い、愛知県では「愛知県商業・まちづくりガイドライン」を策定し、大型店の適正立地、地域貢献活動などについて指導している。

2. 魅力ある街づくりの推進

- ① 名古屋市中心市街地活性化基本計画に対する愛知県独自の支援措置を講じられたい。
- ② 低層階の商業店舗化促進や、店舗の連続性確保に対する新たな補助制度を創設されたい。
- ③ 初動期運営資金の補助制度の創設や保留床取得への優遇税制の拡充等、民間再開発事業の促進策を検討されたい。

本所の取り組み

「名古屋市中心市街地活性化基本計画」が本年3月に国より認定され、この計画のフォローアップをはじめ、中心市街地の活性化に寄与することを目的として、4月1日に「名古屋市中心市街地活性化協議会」を発足させた。

3. 在名外国公館への支援及び外国公館の誘致

- ① 外国公館は、その当該国への情報発信機関として機能し、貿易や人的交流が飛躍的に向上することから、地域に多大な利益をもたらすとともに、その設置数は地域の国際化を計るバロメーターにもなっている。こうした中、在名古屋オーストラリア領事館（平成4年9月開設）が本年8月末をもって閉鎖されたことから、現在、当地域の外国公館数は総領事館が4館、領事館が2館、名誉領事館が23館となっている。今後、既設の外国公館が閉鎖とならないよう、強力な支援策を鋭意検討し確立されたい。
- ② 国内の米国総領事館・領事館の中で唯一ビザの発給業務が行われていない在名領事館において、同業務が行われるよう積極的に働きかけられたい。

【駐日アメリカ合衆国総領事館・領事館の各管轄区域】

在大阪・神戸アメリカ合衆国総領事館：富山、石川、福井、近畿（三重を除く）、
中国（山口を除く）、四国

在那覇アメリカ合衆国総領事館：沖縄及び北緯29度以南の奄美群島

在福岡アメリカ合衆国領事館：九州（沖縄及び北緯29度以南の奄美群島を除く）、山口

在札幌アメリカ合衆国総領事館：北海道、東北（山形、福島を除く）

在名古屋アメリカ合衆国領事館：愛知、岐阜、三重

- ③ 当地域からの企業進出が多い東南アジア諸国の公館は未だ設置されていないが、ASEAN 諸国との経済連携協定(EPA)の締結等により、今後、人・モノ・情報の交流がより一層促進されることから、当該国の公館及び政府機関の誘致に鋭意努力されたい。

【日本とASEAN 諸国との経済連携協定(EPA)】

＜発効済＞	シンガポール	(2002年 11月発効)	マレーシア	(2006年 7月発効)
	タイ	(2007年 11月発効)	インドネシア	(2008年 7月発効)
	ブルネイ	(2008年 7月発効)	ASEAN	(2008年 12月発効)
	フィリピン	(2008年 12月発効)		
＜署名済＞	ベトナム	(2008年 12月)		

4. 国内外企業の誘致推進

- ① 内陸工業用地の造成促進
- ② 中小企業向け工業用地の造成
- ③ 国内外企業の誘致推進
- ④ 東海三県一体となった企業誘致推進と企業誘致団体間の連携強化

C-2. 地域文化・情報発信の強化

1. 産業観光をはじめとする観光の振興

1-1. 産業観光のさらなる振興

- ① まちづくりの視点にたち、県民が誇りと愛着をもって参画できる、新たな産業観光振興策を確立されたい。
- ② 海外の次代を担う学生などの研修旅行の受け入れ促進等、産業観光を通じた国際交流を促進されたい。
- ③ 義務教育への産業観光施設見学カリキュラム導入を推進されたい。

本所の取り組み

企業博物館等と行政・観光団体等の関係者による産業観光推進懇談会(AMIC)では、平成 14 年度から重点活動テーマを定め、「愛・地球博」との連携をはじめ、種々の「産業観光」振興策を展開してきた。

毎年、国際連携や広域連携などをテーマにフォーラムを開催するとともに、海外視察団の派遣やビジネスモデル確立のための事業を実施している。

これまでの活動により、産業観光の推進活動は全国的な広がりをみせ、一定の成果を得たことから、20 年度から、まちづくりの視点に立った展開、産業観光を通じた国際観光の促進、連携と協働を基本的な考え方とした第 4 期の産業観光の推進に取り組んでいる。また、22 年度には、第 5 期の推進計画を策定することとしている。

1-2. 都市・歴史・文化観光の振興

- ① 都市・歴史・文化観光の拠点としての名古屋城本丸御殿の早期復元と、県民と一体となった復元気運の盛り上げを推進されたい。
- ② 整備された交通網を十分に活用し、広域観光の推進に努められたい。
- ③ 国内外からの来訪者に対する多言語による案内表示を整備・充実されたい。
- ④ 当地域への来訪者を継続的に増やしていくため、愛知県観光振興基本計画を早期に策定するとともに、諸施策の実現、特に地元観光事業者の育成・支援に努められたい。

2. 「メッセナゴヤ」への強力な支援

平成 18 年度に第 1 回を開催した「メッセナゴヤ」は、回を重ね、本年 11 月には 4 回目となる「メッセナゴヤ 2009」を、「安全・安心・信頼」をテーマに開催する。

22 年度は、生物多様性条約第 10 回締約国会議 (COP10) と連携して、「環境」をテーマに「メッセナゴヤ 2010」を開催することとしており、COP10 に参加する各国の政府関係者をはじめ、海外からも多くの来場者が予想され、「世界交流都市・名古屋」を全世界にアピールする絶好の機会となる。

「メッセナゴヤ 2010」に対し、引き続き所要の予算措置を講じられるとともに、事業実施に対し強力な支援を賜りたい。

また、アメリカをはじめ、海外からより多くの参加が実現されるよう行政としての活動を期待する。

3. 生物多様性条約第 10 回締約国会議 (COP10) の成功と成果の継承

COP10 の成功と同会議を一過性のものに終わらせることなく、会議開催の意義とその成果を当地域に根付かせることが必要である。

生物多様性に関わる真の理念を次世代に継承していく世界への発信基地として、COP10 を契機に自然を再生する地域づくりについて、実践組織の構築など、実効性のある活動を展開されたい。

4. 親しみやすい「あいちトリエンナーレ 2010」の開催

平成 22 年 8 月より開始される「あいちトリエンナーレ 2010」は、以後 3 年毎に定期開催されるトリエンナーレへの期待を繋ぐ大きな使命を担っている。

また、開催目的のひとつである「文化芸術の日常生活への浸透」を図るためにも、広く県民が参加でき、文化芸術を身近に感じることのできる工夫が非常に重要となる。

その意味からも、民間主催の芸術イベント等と積極的に連携するなど、県民が親しみやすい祝祭的な雰囲気づくりにも努められたい。

5. 海外に向けた地域 PR 体制の整備・拡充

諸外国における当地域の知名度は未だ高いとは言えないことから、多言語による各種 PR ツールを整備・拡充されるとともに、当地の情報を広く世界に発信するため、官民一体となったトップセールスプロモーション活動を強力に推進されたい。

D. 日本のロータリーを目指す総合交通ネットワークの形成

1. 中部国際空港の二本目滑走路の整備促進及び利用促進

① 二本目滑走路の整備促進

中部国際空港は、成田国際空港、関西国際空港と並ぶ国際拠点空港である。国土形成計画(全国計画)及び社会資本整備重点計画に、「完全 24 時間化」が盛り込まれたことを受け、中部国際空港の二本目滑走路の早期整備に向けて、必要な調査を行うよう国へ働き掛けて頂きたい。

② 旅客・貨物における航空需要拡大への取り組みとエアポートセールスの実施

行政と経済界等、地元関係者一丸となって、旅客・貨物両面における航空需要の拡大に向けた各種取り組みに邁進頂きたい。また、国内外へのエアポートセールスの実施にも、引き続き、努められたい。

③ 中部国際空港に関わるアクセス道路の整備促進

名古屋高速道路高速 4 号東海線の早期供用と西知多道路の整備促進に努められたい。

2. スーパー中枢港湾・名古屋港の整備促進並びに利用促進

① 国際競争力強化に向けたコンテナターミナルの整備

アジア・中国物流に対応する鍋田ふ頭コンテナターミナル第 3 バースの整備促進、スーパー中枢港湾モデルバースである飛島ふ頭南側コンテナターミナルの機能拡充並びに利用促進に努められたい。

② 名古屋港に関わるアクセス道路の整備促進

- ・名古屋港と背後地域とを結ぶ広域的なアクセス道路である名古屋環状 2 号線(西南部・南部)の早期整備に努められたい。
- ・コンテナターミナルと背後の広域幹線道路網と連携する臨港道路整備(鍋田ふ頭進入道路、弥富ふ頭道路改良)を行い、海上輸送と陸上輸送との円滑な接続を図られたい。

③ 手続きの簡素化、コストの削減、サービスの充実等、名古屋港の一層の効率化のための取り組み強化

3. 都市圏交通網と総合交通ネットワークの整備促進並びに利便性の向上

都市圏交通網と総合交通ネットワークの整備促進は、経済活性化、物流の効率化はもとより、行政の広域連携の推進、地震等の大規模災害罹災時における救援・救助の迅速化の観点からも大変重要であり、以下のプロジェクトを早期に整備し、併せて一層の利便性の向上を図られたい。

① 名古屋環状 2 号線東部・東南部(高針～名古屋南)と西南部・南部(名古屋西 JCT～飛島 IC)の早期整備及び一般部全線 4 車線化工事の早期完了

② 名古屋高速道路の整備促進並びに渋滞対策等の促進

高速 4 号東海線(山王～東海)

③ 新東名高速道路(豊田東 JCT 以東)の整備促進

④ 東海北陸自動車道南進計画(一宮西港道路)の早期整備

⑤ 県民の足となる鉄道の整備並びに利用促進

- ・名古屋市高速度鉄道 6 号線(野並～徳重)の整備促進
- ・東部丘陵線「リニモ」の利用促進

⑥ リニア中央新幹線の早期建設

4. 県営名古屋空港の利用促進

「名古屋空港」を通勤航空やビジネス機など小型機の主要な拠点空港として、さらなる利用促進に努めるとともに、今後のビジネス機の旅客需要増に対応したCIQの円滑な審査に向けて、国に対し十分な体制の確保を働きかけられたい。

【平成20年度における県営名古屋空港の利用状況】

- | |
|--|
| ① 通勤航空旅客(21年3月現在：1日あたり9路線18往復)
帯広、秋田、山形、新潟、高知、松山、熊本、福岡、長崎
(開港時は6路線13往復)
■総旅客数：410,499人 ■搭乗率：60.0% |
| ② 国際ビジネス機 飛来機数：97機 |